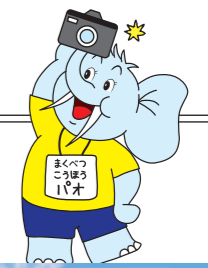




まちのわだい

町内の主なできごとと、頑張っているみなさんの姿をお伝えします！



11/7



ちゅうるいの魅力を語っちゃおう座談会

中学生が「住みたいまちづくり」を提案

忠類中学校の生徒が今までの総合的な学習の時間で取り組んできた内容を基に、「忠類に住みたい」と思えるまちづくりについて考える座談会が、幕別町社会福祉協議会の主催で開催されました。

座談会は、4つのグループに分かれ、最初に生徒が考える忠類地域の課題とまちづくりについて発表し、その内容を基に地域住民と意見交換を行いました。

11/1



セブンイレブン札内晓店 駐車場

ゆとりみらい21推進協議会

まくべつ農福まるしえにいらっしゃい！

国道38号沿いで小さなマルシェが開かれました。ジャガイモやニンジンなど北王農林株式会社・小笠原農園で採れた野菜が並び、障がい者の就労支援を行うひまわりの家・幕別あすなろ会に通所するみなさんが接客販売を担当。来場者は新鮮な野菜を思い思いに手に取りました。



10/20



古舞小学校 アイヌ文化体験授業

アイヌ音楽に触れる

幕別アイヌ協会の安東春江さん、マクンベツアイヌ文化伝承保存会の五十嵐友子さんを招き、アイヌ文化体験授業を実施しました。

授業を受けた児童らは、アイヌ伝統楽器のムックリとトンコリの音色やメロディーを参観した祖母と楽しみました。



10/19



ファームステイ

酪農家の仕事を体験

大阪府の高校生34人が修学旅行で来町し、ファームステイのためi・ふぁーむ(岩谷牧場)を訪れました。

子牛の哺乳や散歩、搾乳を体験し、酪農家の仕事を学びました。また、放牧地で行われた牛探しゲームでは、たくさんの牛の中から体の模様を手掛かりに牛探しに挑戦しました。



ナウマン象の親子に暖かいプレゼント

忠類ナウマン象記念館前と札内のスマイルパークに設置された親子のナウマン象復元模型にブランケットとマフラーが届けられました。

たくさんの人に囲まれて冬支度をしてもらい、ナウマン象も暖かくなって喜んでいるよう。

▶忠類ナウマン象記念館前

地域の女性グループ「五人会」のみなさんからの寄贈。オレンジや水色、赤などカラフルなデザインは、通りかかる人の目を引きまします。忠類中学校の1年生が2頭に着せる手伝いをしてくれました。

▶スマイルパーク

「くまげらサークル」のみなさんからの寄贈。寄贈式に参加した札内青葉保育園の年長園児は、大きなナウマン象に大はしゃぎ。親象に抱きついたり子象に乗ったり、みんなで仲良く遊びました。



忠類ナウマン象記念館前



スマイルパーク

10/27



佐藤 玖音さん(糠内小学校5年)

決意新たに全国大会へ

糠内小学校5年の佐藤玖音さんが、フルコンタクト空手の第16回JKJO全日本ジュニア空手道選手権大会を前に教育委員会を訪れました。帯広市の空手教室「葵塾」で日々厳しい練習を重ね、9月の北海道地区代表選抜大会で優勝。全国大会への挑戦は2回目となります。

「初めての全国大会では、結果があまりよくなかった。今回は突きのコンビネーションなど、試合の組み立てを自分で考えて頑張ります」と話しました。

10/23



しらかば大学 大学祭

学び続ける仲間と共によりいきいきと

10月22日から23日まで、百年記念ホールでしらかば大学の大学祭が開催されました。

展示スペースには鮮やかな色の花の寄せ植えや手芸・陶芸作品などみなさんの力作が並び、来場者の目を楽しませました。また、2日目に大ホールで行われた芸能発表では、合唱やレクダンスを披露。共に学び続ける仲間と作るステージはいきいきとした表情が印象的で、観客から大きな拍手が送られました。



▶地球を守る。未来を守る。そのために今できることを。

環境ナビ

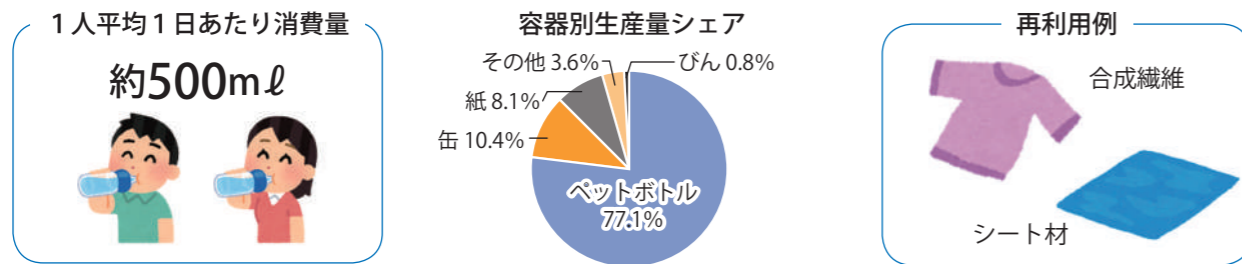
防災環境課
地域環境係
(☎54-6601)

◆ペットボトルのリサイクル

ペットボトルは、リサイクルしやすいプラスチックで作られており、令和2年度に販売されたペットボトルのうち、88.5%と約9割がリサイクルされています。

清涼飲料水は1人平均1日あたり約500ml消費されています。清涼飲料水の約8割がペットボトル入りで生産されており、ペットボトルのリサイクルはとても重要な取り組みです。

幕別町で回収したペットボトルは、合成繊維やシート材として再利用しています。今後ともリサイクルへの取り組み、ごみの分別に協力ください。



◆汚れの取れないごみは燃やせないごみへ

汚れているごみは資源ごみとして回収することができません。特に、油が入っていたペットボトルは、水洗いだけでは油が取れず、リサイクルできないものが多いです。汚れが取れない場合は燃やせないごみで排出してください。

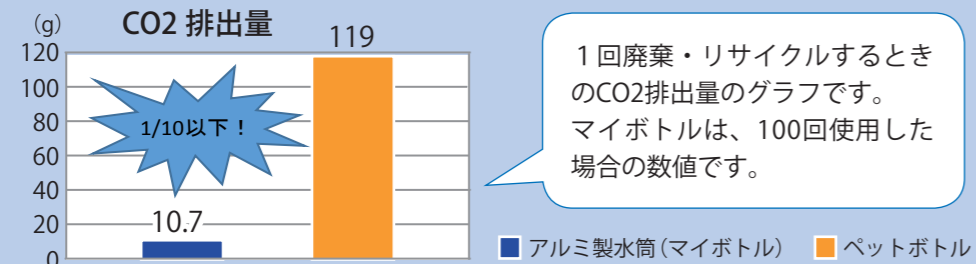


マイボトルと使い捨て容器

水筒やタンブラーのような、繰り返し使用できる容器のことをマイボトルといいます。ペットボトルと比較した場合、100回使用あたりのCO2排出量は約1/10程度となり、環境にやさしく、ごみを減らすことができます。

また、マイボトルでインスタントコーヒーやティーバッグを持参した場合と比べ、ペットボトルなどの使い捨て容器は割高になってしまいます。

環境にも財布にもやさしいマイボトルの使用を検討してみてください。



1回廃棄・リサイクルするときのCO2排出量のグラフです。マイボトルは、100回使用した場合の数値です。

チェンジ!!



不用品のことならまとめておまかせ!

- 引越しゴミ、粗大ゴミ
- 訳ありゴミ
- 故人の遺品整理
- 物置の整理、解体撤収作業

家電のリサイクルも受付中!

高価買取も あります

見積もり 無料

幕別町指令第146号 古物商許可
幕別町札内中央町330-57 担当者TEL090-2071-3561



保険のことならなんでもご相談ください。
自動車保険、生命保険、医療保険等

ウイズT&C株式会社

札内桜町136番地30-4 ☎0155-28-7700

保険のウイズと一緒に働きませんか?
保険の仕事に興味のある方募集中です。

有料広告

テーマ 地震に備える③

地震が起きたときの身を守る行動を知ろう!

防災環境課
防災危機管理係
(☎54-6601)



大きな地震の発生時や発生直後は、冷静な判断や行動が難しくなります。普段から身の安全を守る行動について確認し、いざというときに備えましょう。

●まずは身の安全を確保!

～行動例～

<屋内にいる場合> ・転倒や落下する物から離れ、丈夫なテーブルの下などに避難し、揺れが収まるのを待つ。

<屋外にいる場合>

- ・住宅街では、建物やブロック塀など崩れたり倒れたりするものから離れる。
- ・車の運転中は、車を停車し揺れが収まるまでは車内で待機する。橋などの危険箇所から離れる。

●火の元確認/初期消火

- ・火を使用している場合は、揺れが収まってから火の始末をする。
- ・出火したときは、落ち着いて初期消火をする。

●あわてた行動はけがのもと

- ・屋内では、転倒した家具やガラスの破片に注意する。
- ・窓ガラスや看板などが落ちてくるので、外に飛び出さない。
- ・揺れが収まったら、避難できるよう出口を確保する。

●正しい情報を収集し、確かな行動を

<町からの情報>

- ・防災行政無線、防災情報メール、防災公式LINE、ホームページ

<その他の情報>

- ・インターネット、テレビ、ラジオなど

●自宅の安全確認と安否確認

- ・自宅の安全確認、家族の安否確認をする。
- ・近隣の安否確認をする。

強い揺れが収まった後の行動

×NG行動	○OK行動
部屋の中を裸足で歩く	靴やスリッパを履く
ガス漏れかも? 換気扇をつける	ガス漏れかも? 窓を開けて換気する
電源を入れる (火災や爆発の危険あり)	電気器具のスイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
落ちたブレーカーを上げる	避難時はブレーカーを落とす
外へ飛び出す	室内で安全確保

▶防災情報メール

二次元コードから、または下記アドレスへ空メールを送信し、登録ください。

touroku.makubetsu-town@raidan.ktaiwork.jp

▶幕別町防災公式LINE

二次元コードを読み込み、「友だちに追加」で登録ください。

ID検索はコチラ⇒⇒@makubetsu